

# 「事業所動向調査」 アンケート調査票

## A. 貴社（貴店）の概要等についてお尋ねします。

問1：貴社（貴店）の概要について、以下の回答欄にご記入ください。

①貴社（貴店）名			
②所在地	茨木市		
③連絡先	電話	-	E-mail
④事業所形態 (1つだけ○)	1. 単独事業所 2. 本社（支社・支店、分工場等の複数事業所をもつ会社の本社・本店） 3. その他（ ）		
⑤市内従業者数 ※市内全事業所での総数 (1つだけ○)	※契約社員、派遣社員、パート・アルバイト等を含む総数をお答えください。 1. 1～4人      2. 5～9人      3. 10～29人      4. 30～49人 5. 50～99人      6. 100～299人      7. 300人以上		
⑥市内での事業年数 (1つだけ○)	※茨木市内に本社（本店）が立地してからの事業年数をお答えください。 1. 3年未満      2. 3～9年      3. 10～19年      4. 20～29年 5. 30～39年      6. 40～49年      7. 50年以上		
⑦事業主の年齢 (1つだけ○)	1. 20歳代      2. 30歳代      3. 40歳代 4. 50歳代      5. 60歳代      6. 70歳代以上 ↳ 後継者の有無・予定 (1つだけ○) 1. あり（親族）      2. あり（社員）      3. あり（外部人材） 4. なし（廃業予定）      5. なし（承継予定）      6. なし（M&Aを予定） 7. 分からない      8. その他（具体的に ）		
⑧主な業種 (1つだけ○)	※複数に該当する場合は、主なものを1つ選んでお答えください。 1. 建設業      2. 製造業      3. 情報通信業 4. 運輸業（運送業・倉庫業等）      5. 卸売業      6. 小売業 7. 医療、福祉      8. 教育、学習支援業      9. 飲食サービス業 10. サービス業(9.を除く)      11. その他（具体的に ）		
⑨事業内容、または 主な製品・サービス	(具体的にご記入ください。)		

問2：市内の事業所の敷地及び建物の所有形態はどのようになっていますか。

(①敷地、②建物それぞれ該当するものに全て○)

①敷地	1. 事業主等の個人の所有      2. 自社所有      3. グループ会社所有 4. 賃貸（グループ会社以外）      5. その他（具体的に ）		
②建物	1. 事業主等の個人の所有      2. 自社所有      3. グループ会社所有 4. 賃貸（グループ会社以外）      5. その他（具体的に ）		

問3：貴社（貴店）の昨年度の「売上高（生産高）」や「利益」について、2～3年前と比べてどうなりましたか。(①売上高(生産高)、②利益それぞれ該当するものに1つ○、理由・要因を記入)

①売上高 (生産高)	1. 増えた      2. ほぼ同じ 3. 減った      4. 分からない	(理由・要因と思われることについてご記入ください)
②利益	1. 増えた      2. ほぼ同じ 3. 減った      4. 分からない	(理由・要因と思われることについてご記入ください)

## B. 貴社（貴店）の経営上の問題点、問題解決に向けた取組についてお尋ねします。

問4：現在直面している経営上の問題点やお困りの点は何ですか。（深刻なものに3つまで○）

1. 顧客・取引先の減少	2. 市場ニーズや消費形態の変化・多様化
3. IT化の遅れによる生産性の低下	4. 事業承継
5. 人材不足	6. 人材育成が困難な状況
7. 事業所・設備の老朽化	8. 事業用地の確保が困難
9. 事業コストの増加	10. 周辺の開発による操業環境の変化
11. 競合他社の台頭・増加	
12. その他（具体的に	）
13. 特になし	

問5：貴社（貴店）において、以下の1.～18.にあげた企業活動のうち、実施状況または今後の取組意向について教えてください。（それぞれ該当するものに1つだけ○）

(例) 1. 新商品や新サービスの開発	1. 既に実施している <input checked="" type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
<b>企業の課題解決に向けた取組</b>	
1. 新商品や新サービスの開発	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
2. 自社や商品・サービスのPR強化	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
3. 新たな市場や販路の開拓	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
4. 新分野への進出	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
5. 事業の海外展開（EC[電子商取引]を含む）	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
6. 経費の削減	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
7. 資金力や経理・財務体制の強化	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
8. 人材の育成	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
9. 人材の確保（増員、専門職の雇用）	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
10. 施設や設備の増強、更新	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
11. 企業間や大学等研究機関との連携強化	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
<b>注目度が高い最近のトピックス</b>	
12. AI、ICT※1等の利活用の推進	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
13. キャッシュレス決済の積極的導入	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
14. 働き方改革※2の推進	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
15. 障がい者の雇用	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
16. 外国人労働者の雇用	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
17. BCP（事業継続計画）の策定	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>
18. SDGs※3の推進	1. 既に実施している <input type="radio"/> 2. 今後は取り組みたい <input type="radio"/> 3. 取組意向はない <input type="radio"/>

※1 AI：人工知能（Artificial Intelligence）、ICT：情報通信技術（Information and Communication Technology）

※2 有給休暇の取得促進、時間外労働の削減、テレワーク・短時間勤務など、多様な働き方の整備、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保など

※3 2015年9月に国連総会で「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択。そこに盛り込まれた世界を変えるための17の目標・169のターゲットの略称が「SDGs（エスディーゼズ）」。2016年1月から実践開始。



## C. 貴社（貴店）の人材の確保・育成についてお尋ねします。

問8：貴社（貴店）において、採用時に重視する点は何ですか。（該当するものに3つまで○）

- |             |                |               |
|-------------|----------------|---------------|
| 1. 業務に関する知識 | 2. 業務に関連する技術   | 3. 経験         |
| 4. 資格       | 5. コミュニケーション力  | 6. 誠実さ        |
| 7. 責任感      | 8. 協調性         | 9. 積極性        |
| 10. 実行力・判断力 | 11. 社会人としてのマナー | 12. その他（具体的に） |

問9：貴社（貴店）における人材確保の状況について、どのようにお考えですか。（1つだけ○）

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 確保できている             | ⇒ 9-1をお答えください。  |
| 2. 確保する必要はあるが、確保できていない | ⇒ 9-2をお答えください。  |
| 3. 確保する必要がない           | ⇒ 問10.へお進みください。 |

9-1：「1. 確保できている」を回答した方のみにお聞きします。

貴社（貴店）が人材確保にあたって利用している手段はどれですか。（該当するものに全て○）

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. ハローワーク          | 2. 教育機関（大学、高校等）の紹介       |
| 3. 茨木市が主催する合同就職面接会 | 4. 就職ポータルサイト（リクナビ・マイナビ等） |
| 5. 人材紹介会社の仲介       | 6. インターンシップの受入           |
| 7. 就職情報誌や新聞等の求人広告  | 8. 自社のホームページでの告知         |
| 9. 知人・友人（親族含む）の紹介  | 10. 取引先・銀行等の紹介           |
| 11. その他（具体的に）      |                          |

9-2：「2. 確保する必要はあるが、確保できていない」を回答した方のみにお聞きします。

人材確保ができていない理由は何ですか。（深刻なものに3つまで○）

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 雇用するための資金がない       | 2. 必要とする人材像が不明確     |
| 3. 求める人材を募集する方法がわからない | 4. 求める人材の数が少ない      |
| 5. 応募者（人材）の質が低い       | 6. 人材確保に向けたノウハウが乏しい |
| 7. 人材募集にかかるコストが負担できない | 8. 内定辞退者が多い         |
| 9. 採用後の定着率が低い         | 10. 応募者がいない         |
| 11. その他（具体的に）         | 12. 特にない            |

問10：貴社（貴店）では経営者を含む就業者の人材育成・能力開発ができていますか。（1つだけ○）

- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 十分にできている             | ⇒ 10-1をお答えください。 |
| 2. できていない（不十分）          | ⇒ 10-2をお答えください。 |
| 3. 人材育成・能力開発が必要な就業者はいない | ⇒ 問11.へお進みください。 |

10-1：「1. 十分にできている」を回答した方のみにお聞きします。

どのような取組をしていますか。（特に力を入れているもの3つまで○）

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 育成プログラムの作成・実施（計画的なOJT含む） | 2. メンター制度※の実施       |
| 3. 従業員間の自主的な取組              | 4. 技術やノウハウの文書化・動画化  |
| 5. 資格取得支援（資金の補助など）          | 6. 社外との人事交流         |
| 7. 社外研修                     | 8. 社内での指導育成制度の実施    |
| 9. 社内での業務研修                 | 10. 通信教育            |
| 11. 他社との合同の勉強会              | 12. 大学などと連携した研修・勉強会 |
| 13. その他（具体的に）               | 14. 特にない            |

※配属部署等における上司とは別に、指導・相談役となる先輩社員が新入社員をサポートする制度

**10-2: 「2. できていない (不十分)」を回答した方のみにお聞きします。**

人材育成・能力開発ができていない理由は何ですか。(深刻なものに3つまで○)

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 1. 指導・育成ができる人材がいない、または不足している | 3. 設備・施設がないまたは不足している       |
| 2. ノウハウがないまたは不足している          | 5. 社内ニーズにマッチするプログラムがない     |
| 4. 必要な費用が捻出できない              | 7. 外部機関を利用したいが、適切な機関がわからない |
| 6. 社員が多忙で時間がない               | 8. その他 (具体的に )             |
| 9. 特になし                      |                            |

**問 11: 従業員に対し、どのような能力が必要だとお考えになりますか。(特に重視するものに3つまで○)**

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 商品・技術等に関する知識     | 2. 商品・技術・サービスの企画・開発力  |
| 3. 業務に関連する高度熟練技能    | 4. 対外交渉力              |
| 5. プレゼンテーション能力      | 6. トラブル処理能力 (クレーム対応等) |
| 7. IT・情報処理能力        | 8. 財務・会計に関する能力        |
| 9. コミュニケーション能力      | 10. 営業・販売能力           |
| 11. 法務能力 (契約、知的財産等) | 12. マネジメント能力          |
| 13. その他 (具体的に )     |                       |

**D. 働き方改革の取組状況についてお尋ねします。**

**問 12: 貴社 (貴店) では、働き方改革に取り組んでいますか。(1つだけ○)**

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 取り組んでいる  | ⇒ 12-1 をお答えください。 |
| 2. 取り組んでいない | ⇒ 12-2 をお答えください。 |

**12-1: 「1. 取り組んでいる」を回答した方のみにお聞きします。**

貴社 (貴店) における働き方改革の取組は何ですか。(該当するものに全て○)

- |                     |                        |                |
|---------------------|------------------------|----------------|
| 1. 有給休暇の取得促進        | 2. 長時間労働の是正            | 3. フレックスタイムの導入 |
| 4. 勤務間インターバル制度※     | 5. テレワーク (在宅勤務制度)      | 6. 短時間勤務制度     |
| 7. 仕事と家庭が両立できる環境づくり | 8. 仕事と病気の治療が両立できる環境づくり |                |
| 9. 副業・兼業の許可         | 10. 正社員と非正規社員との待遇格差の改善 |                |
| 11. 女性の積極登用・活用      | 12. 高齢者の登用・活用          |                |
| 13. その他 (具体的に )     |                        |                |

(取り組む上での悩みや課題があれば、ご自由にご記入ください。)

※勤務終了後、翌日の出勤まで一定時間以上の休息時間をとる制度

**12-2: 「2. 取り組んでいない」を回答した方のみにお聞きします。**

取り組んでいない理由は何ですか。(該当するものに全て○)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. どのようにすればよいかわからない | 2. 人手が不足しており手が回らない      |
| 3. コスト面の負担にたえられない   | 4. 該当する従業員が少ない、またはいない   |
| 5. 管理職の認識、理解が不十分である | 6. 従業員の認識、理解が不十分で実践されない |
| 7. 自社にとってメリットがない    | 8. その他 (具体的に )          |
| 9. 特になし             |                         |

## E. 外部との連携についてお尋ねします。

問 13：貴社（貴店）では経営上の課題・問題点などが発生した場合、どこに相談や解決を委託しますか。（該当するものに3つまで○）

- |                               |                 |              |
|-------------------------------|-----------------|--------------|
| 1. 商工会議所                      | 2. 親会社や取引先      | 3. 地域の事業者仲間  |
| 4. 大学や研究機関                    | 5. 金融機関         | 6. 経営コンサルタント |
| 7. 公認会計士・税理士等                 | 8. 国・府・市などの相談窓口 |              |
| 9. インターネット等を使って専門知識を身につけ独力で対応 |                 |              |
| 10. その他（具体的に                  |                 | ）            |
| 11. ほとんど相談しない                 |                 |              |

問 14：今後、貴社（貴店）ではどのような面で外部（大学、事業者間など）と連携すれば有効だと思いますか。（該当するものに全て○）

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1. 業務上での連携（共同開発や事業等の共同実施）           |   |
| 2. 業務上での連携（調査・研究等の受発注）              |   |
| 3. 情報の共有・交換                         |   |
| 4. 人的連携（共同での研修・人材育成、人材交流、インターンシップ等） |   |
| 5. その他（具体的に                         | ） |
| 6. 特になし                             |   |

問 15：近年、大学では、高度な研究だけでなく、購買動向調査や商品開発、品質改善、人材交流などの分野でも、民間企業との連携を受け入れています。  
貴社（貴店）における、大学（学生を含む）や研究機関との連携の状況等についてお教えてください。（1つだけ○）

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 連携している           | ⇒15-1 をお答えください。 |
| 2. 連携したことはないが、関心がある | ⇒15-2 をお答えください。 |
| 3. 連携したことはなく、関心もない  | ⇒15-2 をお答えください。 |

### 15-1：「1」と回答された方にお尋ねします。

連携のきっかけについて、お答えください。（該当するものに全て○）

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 大学側からの提案、アプローチ     | 2. 大学に技術指導等を直接依頼        |
| 3. 展示会、セミナーでの出会い      | 4. 産学が交流する場、研究会での出会い    |
| 5. 市によるマッチング（窓口、企業訪問） | 6. 産業支援機関（市を除く）によるマッチング |
| 7. 金融機関からの紹介          | 8. 親会社、事業者仲間からの紹介       |
| 9. その他（具体的に           | ）                       |

### 15-2：「2」「3」のいずれかに回答された方にお尋ねします。

大学と連携を行っていない理由は何ですか。（重要なものに3つまで○）

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 連携の受入先や窓口を知らない      | 2. 連携の進め方（方法や手順）がわからない |
| 3. 連携するテーマ（内容）がない      | 4. 依頼内容を具体化するのが難しい     |
| 5. 成果が出るのに時間がかかる       | 6. 経費負担がどの程度になるか不明     |
| 7. 求める技術・ノウハウがあるかわからない | 8. 自社の技術・ノウハウを知られたくない  |
| 9. その他（具体的に            | ）                      |

問 16：貴社（貴店）における、企業など事業者間の連携の状況等についてお教えてください。

（1つだけ○）

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 連携している           | ⇒16-1 をお答えください。 |
| 2. 連携したことはないが、関心がある | ⇒16-2 をお答えください。 |
| 3. 連携したことはなく、関心もない  | ⇒16-2 をお答えください。 |

16-1：「1」と回答された方にお尋ねします。

連携のきっかけについて、お答えください。（該当するものに全て○）

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 先方からの提案、アプローチ      | 2. 先方へ直接依頼              |
| 3. 展示会、セミナーでの出会い      | 4. 事業者同士の交流会での出会い       |
| 5. 市によるマッチング（窓口、企業訪問） | 6. 産業支援機関（市を除く）によるマッチング |
| 7. 金融機関からの紹介          | 8. 親会社、事業者仲間からの紹介       |
| 9. その他（具体的に           | ）                       |

16-2：「2」「3」のいずれかに回答された方にお尋ねします。

他の事業者と連携を行っていない理由は何ですか。（重要なものに3つまで○）

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 連携の受入先や窓口を知らない      | 2. 連携の進め方（方法や手順）がわからない |
| 3. 連携するテーマ（内容）がない      | 4. 依頼内容を具体化するのが難しい     |
| 5. 成果が出るのに時間がかかる       | 6. 経費負担がどの程度になるか不明     |
| 7. 求める技術・ノウハウがあるかわからない | 8. 自社の技術・ノウハウを知られたくない  |
| 9. その他（具体的に            | ）                      |

## F. 支援策の活用状況についてお尋ねします。

問 17：貴社（貴店）において、事業活動に役立つ情報源は何ですか。（該当するものに全て○）

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 茨木市ホームページ（SNS 含む）                       | 2. 茨木市の窓口、窓口等にある各種広報誌 |
| 3. 茨木商工会議所からの情報発信                          | 4. 講演会・セミナー           |
| 5. 展示会・商談会                                 | 6. 交流会・勉強会            |
| 7. 顧客・取引先等からの口コミ                           | 8. 同業種の組合等からの情報発信     |
| 9. 専門家（大学、コンサルタント等）からの情報                   | 10. 各種ダイレクトメール        |
| 11. マスメディア（テレビ・ラジオ・新聞等）                    |                       |
| 12. 産業支援機関(1.～3.除く)からの情報発信（機関名も右記にご回答ください： | ）                     |
| 13. その他（具体的に                               | ）                     |
| 14. 特になし                                   |                       |

問 18：上記以外で、事業者の皆様へ広く情報を届けていく上で有効だと思う方法があれば、ご自由にご記入ください。

例. ○○のイベントに合わせて説明会開催、○○への情報掲載 など

問 19：以下にあげる本市の支援策のうち、①知っているもの、②今後活用してみたいものについて、それぞれ当てはまるものをお答えください。(①、②とも該当するものに全て各欄に○)

本市支援策	①知っている	②活用したい
1. 海外ネット通販（越境 EC）セミナー		
2. 勤労者スキルアップセミナー		
3. 中小企業大学校関西校サテライトゼミ		
4. 産学連携交流サロン		
5. 中小企業経営アドバイザー（中小企業診断士）による無料の経営相談		
6. 市の施策に関する情報提供や企業の課題のヒアリング等を行う企業訪問活動		
7. 各種支援制度の概要を取りまとめた冊子「お役立ち帳」		
8. 茨木市産業情報サイト「あい・きゃっち」への情報掲載		
9. 産学連携スタートアップ支援事業補助金		
10. 産業活性化プロジェクト促進事業補助金		
11. 小売店舗改築（改装）事業補助金		
12. 中小企業融資信用保証料補助金		
13. 正規雇用促進奨励金		
14. 障害者雇用奨励金		
15. 企業立地促進奨励金		
16. 中小企業向け融資制度		
17. 企業立地マッチング促進事業		
18. 働きやすい職場づくり推進事業所認定制度		
19. 合同就職面接会		
20. その他（具体的に）		

問 20：その他、本市の産業振興に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

**ご回答者についてお尋ねします。**

よろしければ、ご回答いただきました方の部署名、お名前をご記入ください。  
 （部署名、お名前がご記入いただけない方は、以下の欄は未記入のままでも構いません。）

部署名	
お名前	
今後、個別ヒアリングを実施する際にご協力いただける場合、右欄に○をつけてください。	

**ご協力ありがとうございました。**

※この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**8月13日（火）**までに、ポストへ投函していただきますよう、お願いいたします。



# 商店街に関するアンケート調査

## 【調査のご協力のお願い】

日頃は、本市の市政運営にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。  
本市では、平成21年度に市内産業の発展の指針となる「茨木市産業振興ビジョン」を策定するとともに、産業振興の具体的な取組を「産業振興アクションプラン」として示し、事業者のみなさまや関係機関との連携のもとで、市の産業振興に取り組んでおります。

この度、産業振興ビジョンの策定後10年目を迎えることから、これまでの取組による効果を検証し、また、本市を取り巻く状況の変化を踏まえて、今後の産業振興施策のあり方を検討するため、「商店街に関するアンケート調査」を実施させていただくことといたしました。

ご提供いただいた情報は、万全に管理し、本調査の目的以外には使用いたしません。  
お忙しいところ恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【ご回答にあたってのお願い】

- ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。各質問では、当てはまる番号を○で囲んでください。また、「その他」を選択された場合には、( ) に具体的な内容の記入をお願いします。
- 回答済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**令和元年8月28日(水)までに**、ポストに投函していただきますようお願いいたします。

## 【お問い合わせ先】

茨木市 産業環境部 商工労政課 (担当：浦、武部) TEL：072-620-1620

## A. 貴商店街の概要等についてお尋ねします。

問1：はじめに、貴商店街の概要についてご回答ください。

①名称			
②連絡先	電話	— —	E-mail
③加盟状況 (7月1日時点)	貴商店街エリア全体の店舗数	：	( ) 店舗
	貴商店街組織の加盟店舗数	：	( ) 店舗
	貴商店街の空き店舗*数	：	( ) 店舗

※空き店舗とは、従前は店舗であったものが、現状空きスペースになっているもの（廃業後に住居として使用しているものを含む）をいいます。なお、空き店舗を取り壊して空き地になっているものは除きます。

問2：今年度の商店街の年間予算について、収入・支出の内訳（割合）をご回答ください。

収入	①事業収益	%
	②加盟店舗から徴収する会費	%
	③国、自治体からの補助金	%
	④その他 ( )	%
支出	①ハード維持・管理費（街路灯の電灯料含む）	%
	②ハード新設・修繕費	%
	③イベント等事業費	%
	④運営管理費	%
	⑤その他 ( )	%

## B. 貴商店街を取り巻く状況についてお尋ねします。

問3：貴商店街の活性化に向けて、課題となっていることは何ですか。（主なものを3つまで）

1. 店主（会員）の高齢化	6. 商店街事業のマンネリ化
2. エリア内の店舗の減少（空き店舗の増加）	7. 店舗や設備の老朽化
3. 商店街への加盟率の低下	8. 周辺環境の変化（人口減、大型店進出など）
4. 集客力のある店舗の不足	9. その他 ( )
5. 業種構成に偏りや不足がある	10. 特になし

問4：3年前と比べた貴商店街の来街者数\*について、どう感じますか。（該当するものを1つに）

1. 増えた ⇒問5のAへ	3. 減った ⇒問5のBへ
2. ほぼ同じ ⇒問6へ	4. 分からない ⇒問6へ

※来街者とは、買物等の用事がある商店街に来る人（単なる通行人は除く）をいいます。

**問5**：来街者数の増減理由として、何が考えられますか。(該当するもの3つまで○)

A. 増えた理由	B. 減った理由
1. 周辺の人口や通行量の増加	1. 周辺の人口や通行量の減少
2. 集客力のある店舗の増加	2. 集客力のある店舗の減少
3. 業種構成が豊富・ニーズと合っている	3. 業種構成に偏りや不足がある
4. 大型店の進出による波及効果	4. 大型店の進出による影響
5. イベントや情報発信による効果	5. イベントや情報発信の不足
6. 施設・設備の更新や新設	6. 施設・設備の老朽化
7. その他 ( )	7. その他 ( )
8. 分からない	8. 分からない

**問6**：現在の貴商店街の主な来街者と、今後増やしたい来街者についてお答えください。

①現在の主な来街者層 (主なもの <u>3つまで</u> ○)	1. 学生・若者	5. ビジネスマン・OL
	2. 主婦	6. 観光客
	3. 高齢者	7. その他
	4. 家族連れ	( )
②今後増やしたい来街者層 (主なもの <u>3つまで</u> ○)	1. 学生・若者	5. ビジネスマン・OL
	2. 主婦	6. 観光客
	3. 高齢者	7. その他
	4. 家族連れ	( )

**問7**：3年前と比べた貴商店街の加盟率についてお答えください。(該当するもの1つに○)

1. 上がった ⇒問8のAへ	3. 下がった ⇒問8のBへ
2. ほぼ同じ ⇒問9へ	4. 分からない ⇒問9へ

**問8**：商店街加盟率の増減理由として、何が考えられますか。(該当するもの3つまで○)

A. 上がった理由	B. 下がった理由
1. 商店街内の店舗の増加	1. 商店街内の店舗の減少
2. 加盟勧奨の強化	2. 会の活動への参加が困難な店舗の増加
3. 会員負担(会費や活動)の見直し	3. 会費負担に耐えられない店舗の増加
4. イベント等の実施による効果	4. 会の趣旨や活動に賛同を得られない
5. その他 ( )	5. その他 ( )
6. 分からない	6. 分からない

**問9**：3年前と比べた貴商店街の空き店舗数についてお答えください。(該当するもの1つに○)

1. 増えた	3. 減った
2. ほぼ同じ	4. 分からない





問 16：地域住民のためのサービスに取り組むにあたって、課題となることは何だとお考えですか。（重要なもの3つまで○）

1. 資金面で余裕がない	6. 場所や設備がない
2. 時間や人員に余裕がない	7. 取組の必要性を感じない
3. ノウハウやアイデアがない	8. その他
4. 加盟店舗の理解や協力が得られない	( )
5. 住民のニーズが分からない	9. 特になし

**E. 外国人来街者への対応についてお尋ねします。**

問 17：貴商店街への外国人来街者の状況についてお答えください。（該当するもの1つに○）

1. よく来る	2. ときどき来る	3. ほとんど来ない
---------	-----------	------------

問 18：今後、市内大学の留学生や、東京オリンピック・大阪万博の開催に伴う観光客など、外国人の来街者が増加する可能性があります。貴商店街の外国人来街者に向けた取組みについて、「(1) 現在取り組んでいるもの」と「(2) 今後取り組みたいもの」をお答えください。（該当するもの全てに○）

	(1) 現在取り組んでいるもの (※)	(2) 今後取り組みたいもの
①外国語のメニューや案内板の設置	1	1
②キャッシュレス決済の導入	2	2
③フリーWi-Fiの整備	3	3
④トイレの洋式化	4	4
⑤外国人との交流や誘客のイベント開催	5	5
⑥特に何もしていない／しない	6	6
⑦その他	7	7

※エリア内の店舗が個別に取り組んでいる場合も含まれます。

■上記(1)(2)で「⑦その他」を選択した方は、その具体的な内容を記載してください。

	(1) 現在取り組んでいるもの	(2) 今後取り組みたいもの
⑦その他		

問 19：外国人来街者に向けた取組を進めるにあたって、課題となることは何だとお考えですか。(重要なもの3つまで○)

1. 資金面で余裕がない	5. 外国人のニーズが分からない
2. 時間や人員に余裕がない	6. 取組の必要性を感じない
3. ノウハウやアイデアがない	7. その他 ( )
4. 加盟店舗の理解や協力が得られない	8. 特にない

**F. 今後の商店街振興についてお尋ねします。**

問 20：貴商店街が目指す今後の方向性について、今の考えに近いものをお答えください。

(①～⑥それぞれで該当するもの1つに○)

	当てはまる	当てはまらない
①商店街エリアの魅力向上に取り組みたい(魅力ある店舗の増加、設備の充実など)	1	2
②商店街の情報発信やイベントの充実に取り組みたい	1	2
③地域住民のためのサービスの充実に取り組みたい(宅配、子どもの一時的預かり、高齢者の見守りなど)	1	2
④創業者の誘致に取り組みたい(空き店舗の情報提供、お試し出店の場の提供など)	1	2
⑤外部との連携を深めたい	1	2
⑥現状を維持したい	1	2

問 21：市が運営する産業情報サイト「あい・きゃっち」では、商店街ごとの情報発信や店舗検索ができるほか、国や自治体からの情報を掲載しています。「あい・きゃっち」をどのくらい活用(情報を見ることも含む)していますか。(該当するもの1つに○)

1. よく活用している →問 23 へ	3. ほとんど活用していない →問 22 へ
2. たまに活用している →問 23 へ	4. 活用したことがない →問 22 へ

問 22：問 21 で「3. ほとんど活用していない」「4. 活用したことがない」を選んだ方にお聞きします。「あい・きゃっち」を活用していない理由は、どのようなことですか。

(該当するものに3つまでに○)

1. サイトがあることを知らなかった	4. 何がどこに載っているのか分かりづらい
2. 何ができるサイトか知らなかった	5. 情報発信の仕方(操作)が分かりづらい
3. ほしい情報が載っていない	6. その他 ( )

問 23: 今後の商店街振興などについて、ご意見等がありましたらご自由にご記入ください。

--

よろしければ、ご回答いただきました方の役職、お名前をご記入ください。  
(役職やお名前がご記入いただけない方は、以下の欄は未記入のままご返送いただいても結構です。)

役職		お名前	
----	--	-----	--

**アンケートはここまでです。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。**

※ この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和元年8月28日(水)までに、ポストに投函していただきますようお願いいたします。



# 大学・短大と地域産業の関わりに関するアンケート

## 【ご回答にあたってのお願い】

- ご回答は、この調査票のオレンジ色のセルに直接ご入力ください。
- 調査票がご担当とは別の部署に届いている場合、大変お手数ですが、ご担当への転送をお願いいたします。
- 回答済みの調査票は、**令和元年10月25日（金）までに**、茨木市商工労政課（下記お問い合わせ先のメールアドレス）宛てにご返送ください。

## 【お問い合わせ先】

茨木市 産業環境部 商工労政課 （担当：浦、武部）

TEL：072-620-1620 FAX：072-627-0289

メールアドレス：sykorosei@city.ibaraki.lg.jp

## ● ご回答者についてお尋ねします。

学校名			
部署名			
お名前		役職	
電話		E-mail	

## A. 貴学の概要についてお尋ねします。

問1：貴学に在籍する学生数と、茨木市内に居住する学生の割合を教えてください。

①在籍人数  人

②市内居住割合  
(該当に○)

<input type="checkbox"/>	2割未満
<input type="checkbox"/>	2～4割程度
<input type="checkbox"/>	5～7割程度
<input type="checkbox"/>	8割以上

※令和元年9月時点の人数・割合をご回答ください。  
※北摂エリア(茨木・高槻・吹田・摂津・豊中・池田・島本)のキャンパスに在籍する人数・割合(北摂エリアにキャンパスのない大学・短期大学の場合は、全キャンパスの合計)をご回答ください。

問2：下の①～③について、貴学にご担当の部署があれば、名称を教えてください。

①産学連携のご担当部署：

②就職支援のご担当部署：

③起業支援のご担当部署：

<input type="text"/>
<input type="text"/>
<input type="text"/>

## B. 産学連携の取り組みについてお尋ねします。

問3：過去5年間に、事業者（企業、個人事業主、商店街など）と連携した取り組みを実施しましたか。実施した取組みに該当するものを選んでください。  
（該当するもの全てに○、茨木市内の事業所と連携した内容は●）

<input type="checkbox"/>	①調査・研究・開発の共同実施	<input type="checkbox"/>	⑤事業者と学生の交流や職業体験
<input type="checkbox"/>	②調査・研究・開発の受託	<input type="checkbox"/>	⑥経営者や従業員の人材育成の支援
<input type="checkbox"/>	③講座・イベント等の共同実施	<input type="checkbox"/>	⑦その他（※）
<input type="checkbox"/>	④事業者への設備等の提供	<input type="checkbox"/>	⑧実施していない →問6へ

※その他の内容をご記入ください。

問4：産学連携に至ったきっかけは何ですか。（該当するもの全てに○）

<input type="checkbox"/>	①貴学から事業者へ直接提案	<input type="checkbox"/>	④相談機関を介した個別のマッチング
<input type="checkbox"/>	②事業者から貴学へ直接依頼	<input type="checkbox"/>	⑤その他（※）
<input type="checkbox"/>	③交流会や相談会での出会い		

※その他の内容をご記入ください。

問5：産学連携に取り組んだことによる効果について、下の①～③の観点から、4段階の評価を教えてください。

【回答選択肢】 1:大きな効果があった 2:効果があった 3:あまり効果がなかった 4:全く効果がなかった

①貴学の研究活動や学生の学びへの効果	回答：	<input type="text"/>
②連携事業者の利益増進への効果	回答：	<input type="text"/>
③地域の産業活性化への波及効果	回答：	<input type="text"/>

※①～③以外に実感されている効果があれば、教えてください。

問6：5年前と比べて、産学連携の取り組みや相談は増えていますか。

<input type="checkbox"/>	①増えている	<input type="checkbox"/>	③変わらない
<input type="checkbox"/>	②減っている	<input type="checkbox"/>	④分からない

問7：産学連携の導入や効果的な運用に当たって、課題だと感じるものがあれば教えてください。

**C. 起業家教育の取り組みについてお尋ねします。**

問8：貴学では、起業家教育に関連する取り組み（単位が付与されるものに限らない）を実施していますか。実施している取り組みのうち、該当するものを選んでください。（該当するもの全てに○）

<input type="checkbox"/>	①起業関連の講義（単位付与）	<input type="checkbox"/>	⑤起業を疑似体験する機会の提供
<input type="checkbox"/>	②起業に関するセミナーや講演	<input type="checkbox"/>	⑥起業準備に使えるインキュベーションの運営
<input type="checkbox"/>	③起業家との交流機会の設定	<input type="checkbox"/>	⑦その他（※）
<input type="checkbox"/>	④学生ビジネスプランコンテストの開催	<input type="checkbox"/>	⑧実施していない →問10へ

⑤の例)チャレンジショップなど

※その他の内容をご記入ください。

問9：問8で選んだ取り組みのうち、特に効果があったもの、または学生のニーズや関心が高いものについて、内容と対象者（○○学部生、自由参加等）を教えてください。

問10：5年前と比べて、学生の起業意識に変化は感じられますか。

<input type="checkbox"/>	①高くなったと感じる	<input type="checkbox"/>	③二極化したと感じる
<input type="checkbox"/>	②低くなったと感じる	<input type="checkbox"/>	④特に変化は感じない

問11：貴学の在学中に起業する学生、卒業後の進路として起業を志望する学生は、それぞれどのくらいおられますか。

【回答選択肢】 1:年間10人以上 2:年間5～10人程度 3:ほとんどいない 4:把握していない

①在学中に起業する学生

回答：

②卒業後に起業を志望する学生

回答：

問12：貴学の起業家教育の取り組みについて、行政（市町村）と連携することで、より効果があると考えられる内容があれば、教えてください。

--

問13：起業家教育に取り組む上で、課題だと感じる内容があれば教えてください。

--

**D. 就職支援の取り組みや市内企業等への就職についてお尋ねします。**

問14：貴学では、在学生に対するキャリア教育及び労働者教育を実施していますか。

①キャリア教育		①実施している		②実施していない
②労働者教育		①実施している		②実施していない

※キャリア教育：卒業後の就労や職業選択を含めた自身の生き方を考えるもの  
 ※労働者教育：法定労働時間や育児・介護との両立など、労働者の権利を学ぶもの

問15：学生の就職に関連する茨木市内の企業や事業所（以下「市内企業等」）との関わりについて、現在実施されているもの、今後実施したいと思うものをそれぞれ教えてください。（該当するもの全てに○）

内 容	現在実施 している	今後実施 したい
①市内企業等からの求人申込		
②市内企業等へのインターンシップの実施		
③貴学の就職イベント（合同就職説明会等）への市内企業等の参加		
④市内企業等による貴学生向け単独説明会・見学会の実施		
⑤貴学生と市内企業等の従業員との座談会（職場の雰囲気や働きやすさ等を聞く場）		
⑥その他（※）		
⑦特になし		

※その他の内容をご記入ください。

--

問16：貴学の過去3年間の卒業生で、茨木市内の企業や事業所に就職した学生はいますか。いる場合、可能な範囲で、事業所名を教えてください。

①いる（※）	②いない
--------	------

※事業所の名称

--

問17：貴学の就職支援の取り組みについて、行政（市町村）と連携することで、より効果があると考えられる内容があれば、教えてください。

--

問18：就職支援に取り組む上で、課題だと感じる内容があれば教えてください。

--

\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました \*

# 中小企業者の支援に関するアンケート

## 【ご回答にあたってのお願い】

- ご回答は、この調査票のオレンジ色のセルに直接ご入力ください。
- 調査票がご担当とは別の部署に届いている場合、大変お手数ですが、ご担当への転送をお願いいたします。
- 回答済みの調査票は、**令和元年10月25日（金）までに**、茨木市商工労政課（下記お問合せ先のメールアドレス）宛てにご返送ください。

## 【お問い合わせ先】

茨木市 産業環境部 商工労政課 （担当：浦、武部）  
TEL：072-620-1620 FAX：072-627-0289  
メールアドレス：syokorosei@city.ibaraki.lg.jp

## ● ご回答者についてお尋ねします。

機関名			
部署名			
お名前		役職	
電話		E-mail	

## A. 貴機関の中小企業支援メニューと利用者ニーズについてお尋ねします。

問1：貴機関で取扱可能な支援内容を教えてください。（該当するもの全てに○）

<input type="checkbox"/>	①新規事業展開の支援	<input type="checkbox"/>	⑧販路開拓の支援
<input type="checkbox"/>	②創業（起業）の支援	<input type="checkbox"/>	⑨事業者間や産学の連携のコーディネート
<input type="checkbox"/>	③事業承継の支援	<input type="checkbox"/>	⑩経営改善や資金調達に関する支援
<input type="checkbox"/>	④海外向け事業展開の支援	<input type="checkbox"/>	⑪財務や税務に関する支援
<input type="checkbox"/>	⑤商品開発等に向けた試験や検査	<input type="checkbox"/>	⑫従業員・経営者のスキルアップの支援
<input type="checkbox"/>	⑥知的財産・特許に関する支援	<input type="checkbox"/>	⑬人材確保に向けた支援
<input type="checkbox"/>	⑦生産性向上に向けた支援	<input type="checkbox"/>	⑭その他（※）

※その他の内容をご記入ください。

--

問2：貴機関の利用が多い業種を教えてください。（主なもの3つまで○）

①建設業	⑥飲食業
②製造業	⑦教育、学習支援業
③運輸業	⑧医療・福祉関連
④情報サービス・IT関連	⑨その他サービス業
⑤卸売業・小売業	⑩その他（※）

※その他の内容をご記入ください。

問3：おおむね5年前と比べて、貴機関の利用者のニーズや相談数などが変化したと感じることがあれば教えてください。

例) 商品開発の相談が減った、女性の起業相談が増えた、販路開拓の中でもEC関連の相談が増えた 等

## B. 今後の重点事業についてお尋ねします。

問4：今後、貴機関が重点的に取り組みたい、または充実させたいと考えている中小企業向け支援事業や分野があれば、教えてください。

## C. 自治体との連携についてお尋ねします。

問5：貴機関において、現在、自治体（市町村）の産業振興部局と連携している内容があれば教えてください。

例) 相互に支援内容の案内を行っている、自治体主催のセミナーに講師を派遣している 等

**問6**：貴機関において、今後、自治体（市町村）の産業振興部局と連携したい内容があれば教えてください。

例）定期的な情報交換を行う、事業者向けイベント等を共同で開催する 等

**問7**：自治体（市町村）の産業振興部局との連携について、ご意見がありましたらご記入ください。

**\* 質問は以上です。ご協力ありがとうございました \***